

国語(現代文・古文) 同志社大学 全学部日程[文系] (2/5実施) 1/3

<総括>

出題数	現代文 1題・古文 1題	試験時間	75分
-----	--------------	------	-----

近代以降に普及し始めた日記が、日本において、現代にいたるまでにどのようなメディアでどのように活用されてきたかを、とくに自己の在り方との関係に注目しながら論じた文章からの出題。

例年見られた空欄補充形式の設問(慣用句や接続語の用法を問う問題)は出題されず、すべて文章の内容について問う問題となった。設問数は一つ減って六つとなった。

<本文分析>

大問番号	一
出典 (作者)	山守伸也「日本人は日記とどう向き合ってきたか」
分量 前年比較	分量(減少・やや減少・ 変化なし ・やや増加・増加) ※6600字程度。
難易 前年比較	難易(易化・やや易化・ 変化なし ・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
一	評論	(一)	客観式	標準	傍線部についての内容説明問題。日記が普及した18～19世紀のヨーロッパの状況を踏まえる。
		(二)	客観式	やや難	傍線部についての内容説明問題。明治の日本における日記の活用方法を踏まえる。選択肢の吟味で悩んだ受験生がいたかもしれない。
		(三)	客観式	標準	傍線部についての内容説明問題。教育における日記の効能を踏まえる。
		(四)	客観式	標準	傍線部についての内容説明問題。第16～19段落の内容を踏まえて、SNSとも共通しうる交換日記の特徴を捉える。
		(五)	客観式	標準	本文全体に関する内容合致問題(八つの選択肢の中から三つ選ぶ)。
		(六)	記述式	標準	筆者の主張を記述する問題(四十字以内)。第30段落以降の内容を読み取り、日記が資料的な価値をもちうることを踏まえつつ、現代的な自己の在り方と日記の関係をまとめる。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・分量の多い文章を論理の展開にしたがって読み進め、意味段落ごとの内容を把握しながら全体の論旨をつかむ力を身につけるべく、日ごろから訓練をしておこう。
- ・論述型の問題の対策としては、複雑な内容をできるだけ簡潔に表現できるよう、繰り返し練習すること。

国語(現代文・古文・漢文) 同志社大学 全学部日程[文系] (2/5実施) 2/3

<総括>

出題数	現代文 1題 ・ 古文 1題	試験時間	75 分
-----	----------------	------	------

- ・ 出題形式は従来通りで、本文と設問の難易度も昨年とさほど変わっていない。ただし、今回の記述問題は傍線部が付されていないものである。
- ・ 本文分量は昨年度より増加しており、例年よりも長文であるが、本文展開はわかりやすい。
- ・ 本年度の出典は、例年のこの日程に多い説話である。ただしこの日程も、2023年度の『うつほ物語』や2021年度の『桐の葉』のように、物語からの出題が時折ある。
- ・ 問題文は読みやすいものではあるが、設問を解くためには傍線部だけでなく、本文全体を見渡して解く必要がある。

<本文分析>

大問番号	二
出典 (作者)	『今昔物語集』巻第二十五「依頼信言平貞道切人頭語第十」
頻出度合 ・ 的中等	出典は頻出だが、当該箇所は稀
分量 前年比較	分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約 1620 字 (前年約 1370 字)
難易 前年比較	難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
二	説話	(一)	客観式	標準	語句の意味。a「をかし」b「さがりたく」の意味を選ぶ。どちらも基本古語。
		(二)	客観式	標準	説明。「かやうのことは、我をむねと頼む人にこそ言へ」の説明を選ぶ。「かやうのこと」の指示内容と「我」が指す人物の特定、「むねと頼む」の具体化がポイント。
		(三)	客観式	標準	解釈。「かの人と言ひつけられしことをばかねて聞きてけり、忍びても言はざりしことなれば、おのづから伝へ聞きてけるに」の解釈を選ぶ。「かの人」の特定と副詞「おのづから」の訳出がポイント。
		(四)	客観式	標準	解釈。「勘当あらむと承れば、恐れ思ひたまへつるに、今日よりなむ心安く喜び思ひたまふる」の解釈を選ぶ。ハ行下二段活用の補助動詞「たまふ」に着目して「恐れ思ひ」の主体を特定することと「勘当」の解釈がポイント。
		(五)	客観式	標準	文法。「しえたまはむずるかは」の品詞分解。可能の意を表すア行下二段活用の動詞「う」、助動詞「むず」がポイント。
		(六)	客観式	標準	内容合致。6つの選択肢から2つを選ぶ。例年通り選択肢はどれも短い。
		(七)	記述式	標準	説明 (句読点とも 30 字以内で)。駿河国の男に対する貞道の心情の変化を、男の言動をふまえて説明する。第4段落後半の貞道の心内部分に着目してまとめる。

国語(現代文・古文・漢文) 同志社大学 全学部日程[文系] (2/5実施) 3/3

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・例年、語句の意味や傍線部の解釈問題、文法問題が出題される。識別を中心に付属語の意味を整理し、重要古語を中心に語彙力をつけておく。
- ・説話からの出題が多いが、物語から出題されることもある。普段からさまざまなジャンルの古文に慣れておきたい。
- ・本年度には見られなかったが、和歌が含まれる出典や問題も散見するので、普段から和歌の学習をおろそかにしないこと。
- ・客観式の問題の難易度が標準的なので、最終設問の記述問題(30字以内)が可否の分かれ目になると思われる。設問条件をよく理解して、手際よくまとめられるように練習を積んでおくこと。「記述説明問題」といっても、国公立二次型とはやや異なり、30字という少ない字数でまとめる点は同志社に特徴的なものなので、過去問題で練習を積んでおきたい。
- ・常に正確な人物把握を心がけ、文脈全体の流れのなかで各設問を考えることが肝要である。